

Global Specialization Know-how



Japan, United States

Canada, Brazil, Germany

United Kingdom, Ireland

The Mark of Linear Motion

Italy, Sweden, Austria

Spain, France, Turkey

Czech Republic, China, Taiwan

Singapore, India

Thailand, Korea



Toughness

High Quality

Know-how

特集：THKの可能性

「グローバル展開」における事業基盤

世界の市場ニーズを掴む「製販一体」体制の構築

THKは創立30周年の節目を目前に控えた2000年度に、長期的な経営戦略の柱の一つとして「グローバル展開」を掲げました。その背景には、当社にとって膨大な潜在市場が海外に存在しているとの考えがありました。当時から、工作機械や半導体製造装置などの産業用機械は世界各地で生産されていましたが、直線運動部分にLMガイドを採用していただいていない機械も多かったことなどから、2000年度の当社の海外売上高比率は26%と相対的に低い水準でした。加えて、新興国における産業用機械の生産台数の増加が見込まれる中で、当社にとって膨大な潜在市場が海外には存在していると考えられたのです。

そこで、世界各地の市場ニーズに的確に対応することで、海外売上高比率を50%にまで高めるべく、日本、米州、欧州、アジアの世界4極において、販売網の拡充、生産体制の強化を図り、「製販一体」体制の構築を目指しました。

【米州】では、生産能力向上を図るべく、生産会社であるTHK Manufacturing of America（1997年設立）の第二工場を2001年に稼働させるとともに、アメリカ国内の販売網の整備に加え、カナダやメキシコなどの新たな市場の開拓にも努めるなど、事業体制の強化に努めました。【欧州】では、2001年にフランスの生産会社THK Manufacturing of Europeを稼働させるとともに、現在では欧州10カ国に販売拠点を設け、各国での販売力を強化しています。さらに2008年にはフランスの生産会社の敷地内に新物流センターを稼働させました。欧州のほぼ中心に位置し、交通の便に優れる利点を活かし、物流効率の向上ならびに短納期かつ安定的な供給体制の強化を図りました。【アジア】では、現在、中国、タイ、韓国において生産体制を構築すると共に経済の急成長に伴い販売網の拡充を急ピッチで進めています。※中国展開の詳細は次頁参照

THKは2000年度からの本格的なグローバル展開により、海外売上高比率を2000年度の26%から2008年度には39%まで上昇させることができました。今後もさらなるグローバル展開の推進を図り、国際的な市場競争力を一層高めていきます。

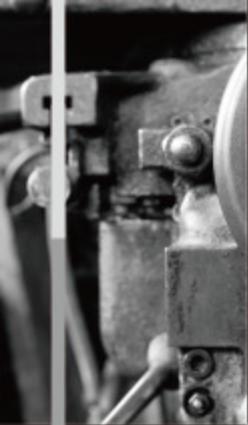


Photo: 手動式工作機械のイメージ

THK Holdings of America, L.L.C.

THK America, Inc.

THK Manufacturing of America, Inc.

Rhythm North America Corporation

THK Europe B.V.

THK GmbH

THK France S.A.S.

THK Manufacturing of Europe S.A.S.

FGM Ballscrews Ireland Ltd.

THK TAIWAN CO., LTD.

THK (CHINA) CO., LTD.

THK (SHANGHAI) CO., LTD.

DALIAN THK CO., LTD.

THK MANUFACTURING OF CHINA (WUXI) CO., LTD.

THK MANUFACTURING OF CHINA (LIAONING) CO., LTD.

Beldex KOREA Corporation

THK LM SYSTEM Pte. Ltd.

RHYTHM GUANGZHOU CORPORATION

THK RHYTHM (THAILAND) CO., LTD.

SAMICK THK CO., LTD.



Globalization

特集：THKの可能性

「グローバル展開」における潜在需要

中国における経済成長とNC工作機械の普及余力

2008年の後半、世界経済は急激に悪化しましたが、中長期的なBRICs諸国の成長ポテンシャルに変化はありません。特に中国では、今回の景気減速局面において中国政府が打ち出した総額4兆元に及ぶ景気浮揚対策の効果が見え始めており、家電関連などの小型工作機械の需要が回復してきました。また、エネルギー関連や鉄道関連などの大型工作機械の需要は依然として好調を持続しています。中国の経済成長が本格化すれば、より一層のビジネスの拡大につながるものと考えています。

中国市場においては、主力の工作機械向けにおいて大きな成長ポテンシャルがあると考えています。現在中国は工作機械の世界最大の需要国ですが、いずれ世界最大の生産国にもなると考えられ、今後も工作機械の生産台数の増加が見込まれます。

また、中国製工作機械のNC*比率の上昇も、当社製品の需要の増加につながるものと考えています。かつて日本の工作機械は、手動式から、数値制御化されたNC工作機械へと進化しました。金属などを加工する際に非常に大きな力がかかる工作機械において、コンピュータの指示通りに加工するためには、直線運動部分を「小さな力」で「正確」に動かすことを可能にするLMガイドが必要不可欠となったのです。現在、日本における工作機械のNC比率が約90%であるのに対し、中国はまだ20%ほどに過ぎません。従って、NC比率の上昇という視点で捉えただけでも、潜在的に4倍以上の市場拡大余地があります。

つまり、工作機械の生産台数の増加とNC比率の上昇という2つの要因で、工作機械における当社製品の需要の増加が見込まれます。この点に関してはインドも同様の状況にあり、新興市場という枠で見ると非常に大きなボリュームとなってきます。

THKでは、こうした中国における潜在的な需要を確実に取り込むべく、産業用機器関連事業においては、地域統括会社であるTHK中国のもと、販売面（全17拠点）を同社とTHK上海が、生産面を大連THK、THK無錫、THK遼寧が担い、製販一体体制のさらなる強化に取り組んでいます。また、台湾、シンガポール、インド、タイ、韓国においても販売または生産拠点を有しており、世界経済が注目するインドをはじめ、成長の期待されるアジア諸国で競争力ある事業体制を整えています。

そして、これから中国では、中国製製品の採用がより一層進むと見込まれ、中国国内での生産体制を整備しているTHKにとってはまさに好機となります。今後も、充実した生産・販売体制と、これまでに培った信頼によるブランド力を活かして、伸張する中国市場で躍動的な成長を遂げていきます。

* NCはNumerically Controlled（数値制御）の略。NC工作機械とはつまり数値制御工作機械のこと。従来の手で操作する工作機械に対して、数値情報で操作される工作機械のことをいう。工作機械のNC化は、1960年代に日本が世界に先駆けて開始し、その成功で世界のNC工作機械市場の大部分を制覇。高精度加工の大家化と非熟練化が促進され、生産技術に大革命をもたらした。また、その技術は初期の産業用ロボットやその他のメカトロニクス機器に応用されるとともに、生産技術全般の高度化をもたらし、70年代から80年代の日本の産業躍進の原動力となった。

LM Guide

Ball Spline

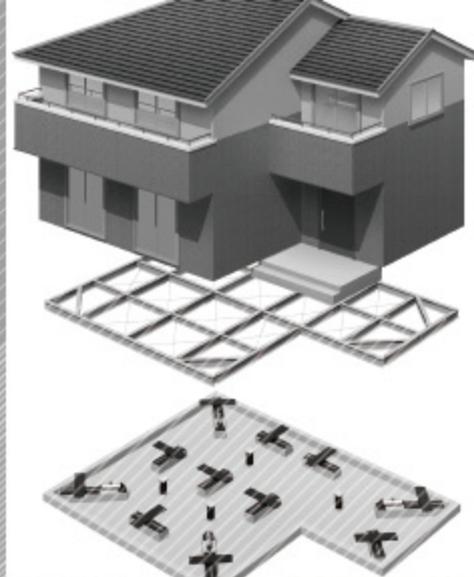
Actuator

Slide Pack

Ball Screw

Cross Roller Ring

Link Ball



MENTOR

Businesses

Rod End

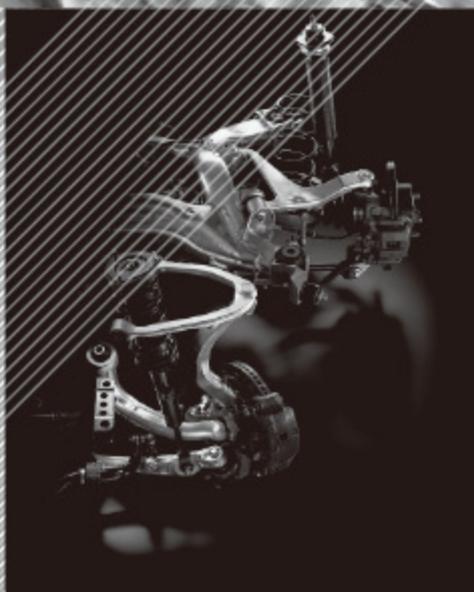
Tie Rod

Steering Linkage

Aluminum Suspension Link

Suspension Ball Joint

Stabilizer Connecting Rod



特集：THKの可能性

「新規分野への展開」における新たな収益基盤

世界的な自動車部品メーカーとしての実績

1971年の設立以来、THKのビジネスは、工作機械、産業用ロボット、半導体製造装置などを製造する資本財メーカーとの取引を中心に展開してきました。これらの業界は今後も高い成長が期待されていますが、設備投資次第で動向が大きく振幅する側面も持ち合わせています。一方で、消費財に近い分野におけるTHKのビジネス規模は相対的に小さいものの、THK製品の活躍の場は膨大に存在していると考えられました。そこで、消費財に近い分野でのビジネスを拡大することにより、売上高を安定的に増加させるべく、2000年度に長期的な経営戦略の柱として「新規分野への展開」を掲げました。自動車の安全性や快適性の向上に貢献する自動車部品を担当するFAI事業部、地震から人命や建物、家具を守る免震・制震装置などを担当するACE事業部などを中心として、積極的な事業展開を図ってきました。

FAI事業部の主力製品のひとつであるリンクボールは、自動車のスタビライザーとサスペンションをつなぐジョイント部分などの足回り機構の部品として、日本、米州、欧州の多数の大手自動車メーカーでの採用を果たしています。アルミダイカスト一体型成形のリンクボールは、従来のスチール製に比べ軽量ながら高い耐食性、耐摩耗性を実現しており、その性能の高さは着実に自動車メーカーに認知されてきています。加えて、性能だけでなく品質管理、アフターサービスなどTHKの総合力の高さも評価していただいています。またLMガイドは、福祉車両の運転席部分などで採用されており、昇降時の移動・回転を支える重要な部品として高い評価を受けています。

2007年には、新規分野への展開を加速させるべく、自動車部品メーカーである株式会社リズムを連結子会社化しました。リズムはばらつきの極めて少ない安定した寸法・強度等を実現するスチール製品の鍛造技術や、優れた品質管理体制を有しています。FAI事業部にリズムを加えて輸送用機器関連事業として一体となった事業展開を図り、採用車種および採用メーカーの拡大に努めるとともに、LMガイド、ボールねじ、アクチュエータなどの製品に関しても、自動車部品としての採用拡大に努めています。またTHKおよびリズムの技術力を活かした新製品の開発も積極的に進めています。

自動車分野のビジネスの特徴としては、設計段階から量産まで数年単位の長い準備期間を要しますが、量産に入れば長期に渡る安定的な収益が期待できることです。今後も世界の自動車マーケットの変化に対して、迅速かつ的確に対応することで、ビジネス規模を拡大させていきます。



New business domains:

Building

Consumer Appliance

Vehicle

Humanoid Robots

Medical Equipment

Wind Power Generation

Aerospace

New

Businesses



特集：THKの可能性

「新規分野への展開」における収益機会の創造

さらなるビジネス領域拡大の可能性を追求

新規分野を拡大すべく、2001年には、住宅の安全性を確保する免震・制震装置などを販売するACE事業部を設立しました。免震・制震装置は地震対策としては耐震よりも優れていますが、技術的にはまだデファクト・スタンダードが存在していません。したがって様々な構造が並存しており、市場には建設会社や住宅メーカーのほか、ゴムメーカーや油圧機器メーカーなども参入しています。こうした中でもTHKの免震・制震装置には、高負荷、高荷重といったLMガイドやボールねじ等のTHKの基本技術を応用することで、高層ビルから戸建住宅、社寺建築等の歴史的な構造物まで、様々な建築物に十分な効果を発揮できる幅広い製品ラインナップを揃えているという特長があります。特に従来難しいとされていた低層や軽量建築物の免震・制震技術において、THK製品は優れた性能を発揮しています。

さらにこれら建築物の免震・制震技術のノウハウを応用し、PCやサーバーなどの事業資産を地震の被害から守る免震テーブルを販売しています。従来の製品に比べ、地震が発生した際の振動幅が非常に小さく高性能な製品となっており、今後のさらなる市場シェア拡大が期待されています。

また、今後はホームオートメーションの進展など、私たちの生活に身近な分野でも、自動化・電動化がより一層進んでいくことが予想されます。資本財における自動化・電動化の進展と共にTHK製品の採用が増加したように、日々の生活をより快適かつ安全なものとしていく上でも、THK製品は活躍の場を広げていくことができると考えています。

自動車分野においては、世界的な環境保全ニーズの高まりとともに、ハイブリッド車や電気自動車の普及が急速に進んでいくことが予想されます。THKでは、こうした変化を追い風と捉え、THK製品の自動車部品としての採用拡大に向け、研究開発を積極化させています。